

2021年2月8日

大内自治会内 大内自主防災組織  
責任者 根本 文雄

「2019年台風19号における  
那珂川増水記録と大内地区行動調査報告書」の掲載にあたって

大内自主防災組織が紹介する以下の報告書は、タイトルの通りであります。その中心は“地区住民の命を守る”という行動が最も重要であるとの思いから始まっています。

報告書をまとめることによって

1. 2019年台風19号における大内地区民の行動を“アンケート調査”として実施したこと
2. その調査結果を整理し、自由意見から課題抽出を行ったこと
3. 大内地区を水害から守っている堤防は、那珂川増水時にどこまで差し迫った状況だったのか
4. 台風19号が降らせた雨の上流側総雨量が、さらに増えた場合の堤防越流・決壊の可能性について
5. 大内地区は、水位基準観測所である栃木県那珂川町小口水位観測所を起点とすると水流が約6時間で大内地区に到達すること
6. 5項から、小口水位観測所の水位を観測且つ予測することで避難の判断に利用できること(6時間を有効に利用する)

などが整理できました。

そして2項は大内地区課題解決を行う現在の指針になっており、その活動を継続しております。

最後に、この報告書は2020年10月8日をもって“オープン”としましたのでご自由に利活用いただけたらと思っております。

本報告書を読まれた方にとって避難行動等のお役に立てれば幸いです。

本報告書に関する問合せ先

自治会名称；那珂市大内自治会 自主防災組織

報告書作成担当；根本泰之

電話番号；029-297-0996

e-mail；[ss903323@m.gobb.jp](mailto:ss903323@m.gobb.jp)